



2023年4月21日

各位

会社名 株式会社 理 経
代表者名 代表取締役社長 猪 坂 哲
(コード番号 8226 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役経理部長 長谷川 章詞
(TEL. 03 - 3345 - 2153)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえて、2022年5月13日に公表しました2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2022年5月13日発表)	10,260	190	190	110	7円28銭
今回修正予想 (B)	10,273	213	218	66	4円36銭
増減額 (B - A)	13	23	28	△44	
増減率 (%)	0.1	12.1	14.7	△40.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	10,862	248	204	139	9円24銭

2. 修正の理由

連結の実績値につきましては、連結売上高は102億7千3百万円、営業利益は2億1千3百万円、経常利益は2億1千8百万円となり、2022年5月13日に発表した業績予想の数値に対し上回る見込ですが、2023年2月8日にお知らせしました(特別損失(投資有価証券評価損)の計上及び繰延税金資産の一部取り崩しに関するお知らせ)特別損失として投資有価証券評価損8千万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は下回る見込となりました。

セグメント別では、システムソリューションにつきましては、主として大学向けシステム案件および製造業向け3次元機械CADソフトウェアの増加があったため、売上高、利益とも予想を上回る見込です。

ネットワークソリューションにつきましては、当初見込んでいた映像配信システム案件の減少、通

信関連顧客や国、自治体等における設備投資の予算削減等により、売上高、利益とも未達となる見込です。

電子部品及び機器につきましては、産業用ロボティクス、半導体製造装置市場向けの位置制御用 LED 製品が減少する一方、連結子会社である株式会社エアロパートナーズの防衛省向け航空機部材、保守点検ビジネスにつき、業績を大きく伸ばす見込です。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上